

情報を適切に結び付けて、考えが伝わるように書き表せる児童の育成

—情報のつなげ方シートを用いた情報の扱い方の指導の工夫を通して—

特別研修員 国語 清水 良一（小学校教諭）

児童の実態

- ・インターネットを使って集めた情報の中から根拠をもって情報を選ぶことができない。
- ・選んだ情報を、目的や意図に応じて、うまく結び付けてまとめられない。

教師の願い

- ・集めた情報を整理したり関連付けたりして、伝えたいことを明確にできるようになってほしい。
- ・情報をうまく活用して、調べ学習を進めたり、まとめたりしてほしい。

【第6学年での実践】

個
で
考
え
る
場
面

手立て① 情報のつなげ方を視覚的に示した「情報のつなげ方シート」の活用 〈根拠をもって、より分かりやすい情報を選ぶ〉

●情報のつなげ方シート

- ・「具体例」「定義」「共通点」の3種類の情報の結び付け方について表した図を1枚の用紙にまとめて例示している。
- ・「使い方」や「効果」「気をつけるポイント」が示されており、情報を選ぶときの根拠として児童が活用する。
- ・タブレットケースに入れて保管し、常に参照できるようにする。
- ・授業の中で気付いたことは随時書き込み、児童の言葉で改善していく。

情報と情報のつなげ方①

【Aとその具体例の関係】

	<p>使い方</p> <p>「例えば、Aには～や～がある。」 「Aの例としては、～や～がある。」</p> <p>効果（どんないいことがあるかな）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・具体的になってわかりやすくなる。 ・1つの情報から話が広がる。 <p>使うときに気をつけるポイント</p> <ul style="list-style-type: none"> ・色々な例を出す。（同じようなものにはない!） ・関係のあるものを書く。（例が間違っていない!）
<p>例</p> <p>スポーツ</p> <p>野菜</p> <p>肉</p>	<p>使い方</p> <p>「例えば、Aには～や～がある。」 「Aの例としては、～や～がある。」</p> <p>効果（どんないいことがあるかな）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・具体的になってわかりやすくなる。 ・1つの情報から話が広がる。 <p>使うときに気をつけるポイント</p> <ul style="list-style-type: none"> ・色々な例を出す。（同じようなものにはない!） ・関係のあるものを書く。（例が間違っていない!）

このグラフは具体的な数字があって分かりやすいかな。この資料とこの資料は似ているから並べた方がよいかな。



情報のつなげ方シートの記述を基に資料を選び、使用する順に並べる。

【「具体例」について、今回の実践で書き込んだポイント】

- ・具体的な数字が書かれている。
- ・共通点（テーマ）が決まっている。
- ・みんなが共感できる体験や知識が書かれている。

具体的な数字、グラフ、テーマが決まっている、みんなが共感している、前の情報

友
達
と
交
流
す
る
場
面

手立て② 情報の選び方や結び付け方について、考えを交流するグループ活動の設定 〈他者の見方や感じ方を知り、よりよいつなげ方に気付く〉

●考えを交流するグループ活動

- ・情報の選び方や結び付け方の根拠を説明することで、自分の考えを整理する。
- ・友達と交流することで、自分以外の人々の見方や感じ方を知ることができ、よりよい情報のつなげ方に気付く。



個で考えた構成メモ

【児童の振り返り】

- 資料の順番が変わった。言葉が似ているものが離れていたけど近くなった。
- グラフを置く順番を考え直した。（資料の並べ方について）友だちの意見を聞いてよかった。
- みんなが納得するような意見文を書きたい。

資料①と②は、両方とも「グループチャット」について書いているから、つなげた方がいいんじゃない？

最初に「グループチャット」のことを言って、あとでスマホが必要なことを言うと思うから、これをこっちにすれば？（②と⑧の資料を指差しながら伝える。）

内容の似ている資料をつなげる

より効果的な順番に並べ替える

交流後の構成メモ

情報を適切に結び付けて、考えが伝わるように書き表せる児童

成果○ 課題●

- 情報のつなげ方シートの記述に基づいて資料を選んだことで、児童は根拠をもって使いたい資料を選ぶことができた。
- 選んだ資料について友達と考えを伝え合ったことで、友達からのアドバイスをもとに資料を選び直したり、順番を入れ替えたりすることができた。
- 情報の選び方や結び付け方についてグループで検討したことで、それぞれの資料から読み取れる情報についての理解が深まり、ほとんどの児童が自分の主張に沿った資料を選び、事実と意見を分けて文章を書くことができた。
- 自分が選んだ資料を客観的に見て、「他の人が見ても本当に分かりやすいか」という視点で考えられている児童が少なかった。情報を選ぶ活動の前に、情報を複数の立場から考える活動を取り入れる必要がある。

完成した意見文

資料を活用して、文章を書くことができた！